

群馬県におけるレタス根腐病のレース発生状況と品種の抵抗性

研究のねらい

レタス根腐病は *Fusarium oxysporum* f. sp. *lactucae* によって引き起こされる土壌伝染性の難防除病害です。抵抗性品種の利用が有効な防除対策となりますが、本病原菌は、品種に対する病原性の違いにより、レース1, 2, 3の3種類のレース（レース：植物品種に対する病原性が異なる病原菌の系統）が存在するため、発生したレースに対応した抵抗性品種を利用する必要があります。そこで、県内におけるレースの発生状況を明らかにするとともに、本県で発生したレースに対する品種の抵抗性について検討しました。

技術の特徴

- 1 利根沼田地域における、平成21年から28年までの本病の累計発生圃場数は、79圃場でした。発生レースの内訳は、レース1が3圃場（4%）、レース2が76圃場（96%）でした。レース3の発生は認められませんでした（図1）。
- 2 レタス品種の根腐病レース1およびレース2に対する抵抗性の程度には差が認められました。供試したレース2に抵抗性を持つ品種は、大部分の品種がレース2に対して強い抵抗性を示しました（図2）。なお、本試験は、現地発病圃場より高い菌密度で実施しています。
- 3 品種の選択にあたっては、種苗メーカーなどから情報提供されている品種特性を考慮する必要があります。

今後の取り組み

抵抗性品種の導入率が増加し、平成29年度には新規発生圃場は0になりました（利根沼

田農業事務所調べ）。今後も、関係機関と連携し、レタスの生産安定に向けた取組を進めていきます。

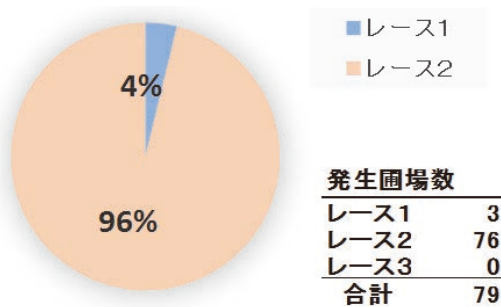
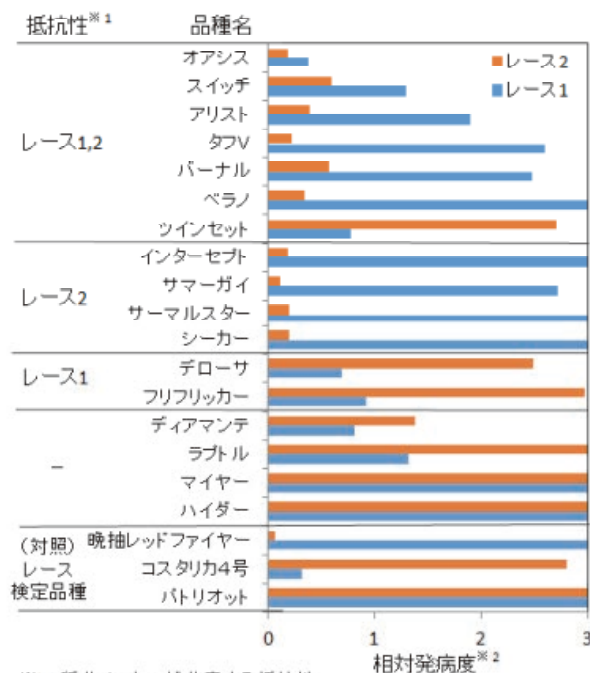


図1 利根沼田地域におけるレタス根腐病発生状況（平成30年3月31日現在）



※1 種苗メーカーが公表する抵抗性。
 ※2 各供試品種は2回試験を行った。以下の基準で調査し、発病度を算出した。同一の試験ではないため、各試験におけるパトリオット（レース1,2感受性品種）の発病度を3としたときの相対値を求め、それらを平均して相対発病度とした。
 $発病度 = \frac{\sum(発病指数別株数 \times 発病指数)}{\text{調査株数}}$
 発病指数 0:健全、1:やや萎凋、2:株全体が萎凋、3:枯死

図2 レタス根腐病レース1及び2に対する品種の抵抗性

（執筆者：古澤 安紀子）